

任命拒否の「根拠」総崩れ

予算委
志位
委員長
が徹底追及

臨時国会の衆院予算委員会で日本共産党の志位和夫委員長は4日、学術会議問題を徹底追及。任命拒否の「根拠」は総崩れになりました。

菅首相は任命拒否の理由について「総合的、^{ふかん}俯瞰的」「バランス」「多様性」などと説明。志位氏は50代前半の研究者、その大学からただ一人だけという研究者、女性研究者の任命を拒否したことをあげ、支離滅裂だと指摘しました。

クーデター的

任命拒否について「学術会議から推薦された方々をその

学術会議会員の男女比

	男性80%	女性20%
20期 2005年		
25期 2020年	62.3%	37.7%

まま任命しなければならないということではない」「これは政府の一貫した考え」と答弁していることについて志位氏は、「一貫してというがいつからか」と質問。2年前からであることが明らかになり「2年前にこっそり決めて国会にも学術会議にも知らさなかった」「クーデター的な法解釈の変更」と批判しました。

人文系226学会「拒否撤回を」

人文社会系226の学会は6日、学術会議会員の任命拒否撤回を求め、共同声明を発表しました。哲学、宗教学、歴史家、教育学など

10学会の代表が同日、会見しました。幅広い人文社会系学会が一つにまとまって意見を表明するのは、歴史的に初めてです。

制度解説

衆院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
小選挙区は「候補者の名前」で

政党名を
と書きます

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

しどろもどろ

学術会議 人事介入問題



菅首相

再三にわたって職員の説明を受ける菅首相=6日、参院予算委

学術会議から推薦された新会員6人を菅首相が任命拒否した問題は、憲法の「学問の自由」を侵害する重大問題。首相の答弁は支離滅裂、早くも答弁不能に陥っています。

資料を棒読み

6日の参院予算委員会。日本共産党・小池晃書記局長が菅首相を追及しました。質問のたびに審議が中断、少なくとも計12回、質問時間70分のうち約30分間にも。委員長から指名されても答弁に立てず、しどろもどろになり、職員から差し出された紙を棒読み。最後まで自分の言葉で答弁できませんでした。



ことごとく矛盾

- 排除の根拠は憲法15条1項?…この条項の”公務員の選定・罷免権“は「国民固有の権利」。首相のものではありません。
- 任命拒否は適法?…学術会議法違反です。同法(17条)は会員の選考権を学術会議に与えており、首相に権限はありません。

日本共産党

近畿民報

2020年11月 No.2(第438号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

折り目